

島根県議会議長
中村 芳信 様

請願者 ゆきとどいた教育をすすめる島根の会
代表 小松 雪乃

コロナ禍における少人数学級制度維持を求める請願書

1 請願の趣旨

コロナ禍において児童生徒の安全を守るために、来年度も小学校2年生の30人学級、中学校3年生の35人学級の学級編制を維持することを求めます。

2 請願の理由

新型コロナウイルス感染がはじまって1年以上が経過しました。島根県では今のところ感染爆発のような状況にはなってはいませんが、全国的には2回目の緊急事態宣言が出される地域が出ています。ワクチンの接種も2月から開始される予定ですが、行き渡るには時間がかかり、まだまだコロナ禍が収束する状況にはありません。

島根県教育委員会は、島根創生計画にもとづき、来年度から小中学校の少人数学級編制基準を見直す計画でしたが、国が小学校の35人学級に踏み出したことを受けて、小学校3年生から6年生までは35人に据え置くことを発表しました。しかし、小学校2年生は、現行30人学級を32人学級へ、中学校3年生は現行35人学級を38人学級へ見直すことを4月から実施する予定です。

このことが実施されると、例えば、小学1年生が32人いる学校では、現在16人の2クラスで授業をしていますが、4月から小学2年生になると、32人の1クラスで授業をすることになり、いっそう「密」が拡大されます。また、中学2年生が38人いる学校では、現在19人の2クラスで授業をしていますが、4月から中学3年生になると、38人の1クラスで授業をすることになり、いっそう「密」が拡大されます。

島根県教育長は、「感染症に対する持続的な対策、対応は当分の間必要」「感染リスクを低減した活動様式を定着させることに尽きる」と述べています。学校現場では、毎日、感染予防に努め最大限努力しています。このような中で、「少なくとも、教育行政の側が、現行よりも『密』を拡大することだけはしないでほしい。」というのが学校関係者、児童生徒、保護者の切なる願いです。

そこで、私たちは次のことを請願いたします。

【請願事項】

コロナ禍において児童生徒の安全を守るために、来年度も小学校2年生の30人学級、中学校3年生の35人学級の学級編制を維持することを求めます。